

## 会 議 録

内容承認	公開・ 非公開	＜開催日＞令和5年8月4日（金）	＜傍聴人数＞ 3名
森下会長 関本委員 長谷川委員		＜時 間＞14:00～16:00	＜傍聴室＞
		＜場 所＞岸和田市役所新館 4階 第1委員会室	岸和田市役所新館 4階 第1委員会室
承認	公開		

＜名称＞ 第29回（令和5年度第1回）岸和田市子ども・子育て会議

＜出席者＞

（岸和田市子ども・子育て会議委員出欠状況）○は出席、■は欠席

森下	近森	関本	和泉	阪口	高松	中川	新川	新田
○	○	○	■	○	○	○	○	○
長谷川	網代	藪	撫養	松永	阪本	梅崎	茂野	
○	○	○	○	○	○	○	○	

（事務局）

大西子ども家庭応援部長、藤浪教育次長兼教育総務部長、山本保健部長、牟田生涯学習部長、鈴木子育て支援課長、津田子育て施設課長、山田こども園推進課長、青田子ども家庭課長、長谷川健康推進課長、井上教育総務課長、松本学校教育課長、井出生涯学習課長 他

＜議題等＞

- 1 開会
- 2 委員委嘱
- 3 議題
  - （1）第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
  - （2）第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画について
  - （3）その他

<概要>

- 開会
- 委員に委嘱状交付
- 委員自己紹介、事務局紹介
- 議題（１）について事務局から説明
- 事務局の説明を受け、質疑・応答
- 議題（２）について事務局から説明
- 事務局の説明を受け、質疑・応答
- 議題（３）について事務局から報告
- 閉会

■署名委員指名

【議 長】

まず、本会議の署名委員として、関本委員と長谷川委員を指名いたします。よろしくをお願いします。

■議題（１）第２期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（令和４年度実績）について

【議 長】

それでは、次第に従いまして、「３ 議題（１）第２期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（令和４年度実績）について」、事務局から説明をお願いします。

（「３ 議題（１）」について事務局説明）

【議 長】

ありがとうございました。ただ今、事務局より「第２期 岸和田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（令和４年度実績）」説明がありました。委員の皆様からご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

【委 員】

岸和田の障害のある子どもたちへの支援事業について今の報告だけではよく分からないので、障害のある子どもたちへの現在の支援の状況について教えていただければと思います。

【議 長】

ありがとうございます。事務局の方からお願いします。

【事務局】

障害児に関する事業に関しましては、別途「障害児福祉計画」というのがありまして、そちらの方で取り組ませていただいておりますので、この会議では説明しかねます。

【委員】

障害児も岸和田で住んでいる子どもには変わりないと思いますので、やはり、子ども・子育て会議において、障害のない子どもたちの状況と障害のある子どもたちの状況を両方踏まえて、考えていく必要があるのではないかと思います。同じ岸和田に住んでいる子どもたちですので、特に障害のあるなしに関わらず、交流で子育てをし、また地域で子育てをする必要があると言われて久しいが、未だに区別するという事は、縦割り行政そのものではないかと思います。したがって、子どもには変わりないので、別の会議で説明しているからこの会議では説明しないというのは、おかしいのではないかと思います。

【議長】

事務局の方からお願いします。

【事務局】

今回、議題として上げさせていただきましたのは、第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況でして、各課から地域子ども・子育て支援事業、いわゆる13事業について説明させていただきました。これは法律で定められた事業ですので、障害児に関する事業については、今回の計画の中では対象外となっておりますので、今回の計画の中での進捗状況を説明させていただきました。

【議長】

他に何か質問等ありますか。

【委員】

幼保再編のことについて発言させていただきます。私も再編の説明会に参加させていただきました。ただ再編が必要な理由として、子どもの数が減っているという話がありましたが、私にはお金としか感じられませんでした。もちろんお金は大切ですが、今の説明にありましたが、幼稚園の状態はいかがなものかと感じています。だから再編が必要なことは理解していますが、市立保育所が11か所あって、市立幼稚園も22園ある中で、たった6園の市立子ども園になるという計画には、賛成

できません。再編の内容が、子どもや働いている先生や保護者にとっても納得ができる、不安もなく、そうすべきであるといった再編内容であつたら良いですが、人数的な点からもそうではなかったのも、とても不安でしかありませんでした。保育連全体でもアンケートを行って、岸和田市に提出させていただいていると思いますが、今以上に子育てが困難になる再編ではなく、もっと当事者の声に耳を傾けてもらって、今のニーズにあつた再編を行って欲しいという思いで、本日参加しました。

また、子育ては親だけでは難しく、祖母や祖父、地域や先生など、いろんな人からの優しいまなざしので手助けをしてもらって、豊かな子育てができると考えております。

また、このような会議があること自体、出席することになるまで知らなかったが、配布されている第2期の計画を、事前にホームページでも見ることもできたので、読ませてもらったが、基本理念のところに、「子どもをみんなで育むまち岸和田」と書いていますので、子どもたちが優しいまなざしをたくさん感じて成長した後に、また、岸和田で自分も子育てしたいなと思えるようになることを願っていますので、よろしくお願いします。

【議 長】

貴重な意見ありがとうございました。事務局の方から何かありますか。

【事務局】

貴重なご意見いただきましてありがとうございます。当然、今回の再編に関しましては、待機児童の解消にもつながるものであります。また、幼稚園の現状を回避するものであります。あとは、すべての施設において老朽化が進んでいます。子どもが通園してそこで過ごすその環境そのものが大変劣化していることの解消を目指して、再編を考えたものです。その際には、市民のみなさんにも入っていただいた検討委員会の答申をいただいた上で、原則、1圏域に1施設を設置するという考え方の中で現状、6施設の公立の子ども園を計画しています。また、この計画自体については、議会の承認も得ているものでありまして、その原則に基づいて進めており、これから情勢がどのように変わっていくかを見ながら、引き続き検討を進めていきたいと考えています。

【議 長】

ありがとうございます。他に何かありますか。

【委 員】

門前の子ども園のことで、道路の横を通行している時に見ましたが、グラウンドがとても小さく、遊具も全然ないように見えました。子どもだったらもっと体を動

かすためにいろんな遊具があっても良いのではないかと思います。子ども園を建てるにあたって、子どもの活動を考えて、どのように誰が相談して、対応して施設を決めたのかを知りたいと思います。

【事務局】

今、発言いただいた子ども園は民間事業者で、今年度4月に開園したこども園のことかと思います。岸和田市としては、先ほど申しあげました再編の目的の1つとしてあげました待機児童の解消のために、民間事業者の活力を十分に生かしながら、新設の民間認定子ども園を建てていただいた1園ですが、公募要件の中に再編していく中で教育、保育の内容をしっかりと引き継いでいける民間事業者を公募しまして、建てていただきました。

また、規模に関しましては、こちらの圏域の待機児童の状況を勘案しまして利用定員を設定しておりまして、それに見合った認定こども園の認可基準を満たした施設となっております。ただ、民間事業者でも保育士不足の課題が大きいと聞いており、受入れ児童に関しては施設として運営していく中で、徐々に充実した運営をしていきたいという要望があり、今後、受入れ児童数を増やしていく方向で考えているとのことでした。

【議長】

ありがとうございます。他に何かありますか。

【委員】

私は、民間のNPO法人「ここから kit」で子育て支援を実施しております。その中で「ホームスタート事業」というのがありまして、家庭訪問型の子育て支援で、アウトリーチで子育て支援を行っています。ただ私たちは専門職ではありませんので、傾聴という形で話を聞かせてもらったり、いろんな面でお母さんたちを支えていけるようにしています。その中で保健センターの保健師から紹介を受けたり、チラシをもらったりし、そこから電話があって、ご家庭に訪問させてもらっています。

現在、「ここから kit」の事業で「フードパントリー」という事業を行ってまして、全小学校、幼稚園、保育所にチラシを配布させていただきました。そうすると、それを見た方が、ライン登録して頂いたり、連絡をしていただきました。その中でいろんなご家庭があり、「とりあえず依頼してみようかな」という方や、ご家庭にお電話をかけて、お話を聞いたら、「すごく大変である」といった本当に困窮家庭があったりします。やはり根底に困窮があると子育てに大きく影響してくるので、私たちはできる支援を民間で実施しています。保健センターの保健師からの紹介で、一緒にご家庭を訪問させていただいたこともあり、いろんなお母さんたちのしんどさを聴いたり、家庭育児をしている親御さんたちもたくさんいます。

現在、幼稚園や保育所、認定こども園の方に多く子育て支援がいていますが、家で子育てをしている家庭への子育て支援にも、力を入れて欲しいと思います。今、子育て支援センターも2つの施設がありますが、やはり地域で子育て支援を充実させていくには、もっと私たちのような民間の力を利用していただければと思いますし、市と民間が連携して子育て支援を行っていったら良いと思います。

【議 長】

ありがとうございました。行政と民間の力も活用して子育て支援を充実していければ良いと思います。また、色々な研究でも表れていますが、兼業主婦よりも、専業主婦の方が、ストレスを抱えていると言われていいますので、そのあたりの支援も力を入れていく必要があると思います。

他に何かありますか。

【委 員】

質問と、未就園児について発言があったので、その点について意見があります。まず質問ですが、資料3-4の「病児・病後児保育事業」について、病児保育所を3か所で実施していると報告がありましたが、1つは大宮保育所ということで前回の会議で分かりましたが、再度、3か所の所在地を教えてください。

そして未就園児に関する質問ですが、実績報告の中で「1歳児、2歳児において未だ待機児童が出ている事が課題である」とのことでしたが、幼保再編にも関わってくると思いますが、この課題解決について、行政としてどう考えているのか教えてください。

また、未就園児に関する件ですが、未就園児に関する現存の受入れ施設で、保育所、保育園、そして民間保育所も該当すると思いますが、国のモデル事業として「子ども誰でも通園センター」というのがあり、着手しているところもあると思いますが、岸和田市として未就園児の受入れについて、現存する施設でやっていくことが可能と考えているのか、また、先ほど報告があった1歳児、2歳児の待機児童が解消されてから、現存する施設だけで受入れを行っていくつもりなのか、今後の見通しについての考えを教えてください。

【議 長】

ありがとうございます。それでは事務局から1点目の質問である病児保育施設3か所の所在地について、お願いいたします。

【事務局】

ご質問の3か所ですが、東光宮前病児室、そして、ピープル小松里、3つ目が上野町西にここに病児保育室となっております。それぞれの施設に町名が入っている

ので、およその場所についてご理解いただけるかと思います。

【議 長】

ありがとうございます。それでは2点目の質問でありました1歳児2歳児の待機に関する行政側の見通しについて、また今後の受入れ体制について、事務局からお願いいたします。

【事務局】

待機児童の解消について、先ほどご説明させていただいておりますが、幼保再編の中で、待機児童について考えているところであります。令和5年度、6年度で新設、または増改築を民間施設にご協力を仰いで、2年度で約400名程度の増員を実施できると考えておりますので、数字上は待機児童の解消を図れるかと思いません。ただし、保育士の人材不足がありますので、保育士の確保については、十分に注意と努力をしながら、実施していきたいと考えております。

【議 長】

ありがとうございます。3つ目の質問に対して事務局からお願いします。

【事務局】

3つ目の質問に関する回答ですが、「子ども誰でも通園センター」については、今年度、モデル事業として全国の自治体で取り組んでいるところでありますが、具体的な制度設計について、まだ明らかになっていない部分があります。先ほど事務局の山田から説明させていただきましたが、施設の改修等で受入数を増やして、待機児童を解消していく中で、この制度についても並行して考えていきたいと思いません。現在のところ、具体的な方策について明示することはできません。

【議 長】

ありがとうございます。保育士の確保の面で養成側の大学から言えば、現在、高校生で保育者を目指す学生が激減している状況が大学側からみる現状です。しかし、子どもを育てるという意味においては、とてもやりがいがあり、魅力のある仕事であります。したがって学生が保育者になることに対して夢を持ってもらえるような職業であることを、大学側も意識していく必要があると考えます。保育者を目指す大学生の確保にも苦慮しているのが現状です。

それでは他に何かありますか。

【委 員】

今の事務局の説明の中で、「待機児童は減る」とのことでしたが、待機児童が減

ったとしても、預ける保護者側としては、ただ入れたらいいという問題ではなくて、希望するところに入れたいと思っています。1つの希望としては、兄弟そろって同じ園に入れたいということがあると思います。また、岸和田市では悲しい事故がありましたので、それも含めて、ただ入れたから良いのではありませんので、そのあたり保護者の声も聞いていただいて、しっかりと進めて行って欲しいと思います。

【議 長】

ありがとうございました。その点に関して事務局からお願いします。

【事務局】

みなさんそれぞれの切実なご要望については十分に理解しておりますが、すべての方の要望に corres 応することは難しいことですので、みなさんの意見を聞きながら、出来ることを実施していきたいと考えております。

【議 長】

ありがとうございました。他に何かありますか。

【委 員】

保護者様の意見はとても良いなと思います。私は事業所をしていますが、市を擁護するわけではありませんが、兄弟入所については、最近はかなり改善されてきていると思います。待機児童については、現状、数字を見るとこんなにたくさん出ていると思いますが、保育士不足もそうですが、昔は育児休業が1年でしたが、現在は、男性も取得することができるようになったために、2～3年取得して、3歳から保育所に入れたいという人が増えています。そうすると先にあまり点数が高くない方が入ると、園がいっぱいになり入れないという状況が表れています。

また、地域性で、0歳児を10人、15人取りますよといっても、結局8人しか入らないといった地域もあります。一方、15人取りますよといったら、20人入りたいといった地域もあります。

しかし、私たち事業所からすると、育児休業が伸びてくると、今後、0歳児の受入れが必要なくなるのではないかという不安があります。今、この数字だけを見て、待機児童が2年後解消するといったら、建物を建てても、3年後使いみちがなくなってしまうので、予算を支出しているので、すぐ壊すようなことは出来ませんので、そういうことも深く考えて進めていった方が良いと思います。

【議 長】

ありがとうございました。今年度4月に子ども家庭庁ができて、動きがとても分かりにくい過渡期だと思いますので、市民と一緒に考えていくという意味では、い



ろんな意見を行政に届けていただくのが良いと思います。  
それでは他に何かありますか。

【委員】

私の知り合いの娘が公立の保育士をしています、その友達が民間の保育所で働いていて、子どもを産んだ後、仕事に戻れないような状況になっており、結局、仕事をやめてしまったとのこと。志を持って資格をとっている人もたくさんいると思いますので、もっと働きやすい環境づくりと制度が必要だと思います。

【議長】

ありがとうございました。保育士の処遇改善という点では以前より良くなっていると思いますが、まだまだ課題があると思います。  
他に何かありますか。

【委員】

私は、前々回の会議で初めて参加させていただきました。私には4人の子どもがいて、年中、年少、そして2才の双子がいます。当時、会議に参加させてもらった時は、双子の子どもがまだ1才になっていませんでした。その当時、地域子育て支援拠点に何度か行った時に、利用できる時間帯がお昼からの時間帯で、ちょうど子どもたちがお昼寝をしたい時間になっており、そういう時間帯に施設が開園しているということもあり、また、上の子たちのお迎えの時間もあるので、長くは居ることができないという時がありました。また、私と子どもたちが1対1の環境であるので、他のお母さんと子育てについて話をしたいと思っていましたが、施設の先生とは話をすることが出来ましたが、お母さんとは話をすることが出来る環境ではなかったもので、自分としては残念でした。

また、保育士不足という話がありましたが、私は、幼稚園教諭と保育士の資格を持っていて、会議に参加した時は育児休業を取得していましたが、職場に復帰すると伝えたところ、「子ども4人もいたら戻れないでしょ」と言われました。もし、子どもが熱を出したら休まないといけない、ということもあって、結局、勤めていた職場を退職しました。その後、これからどうしようかと考えていたところ、たまたま子ども4人とも和泉市の保育所に入所することができて、私もこの4月から和泉市の公立の幼稚園で働くことができています。

また、勤務している幼稚園で、実際に学生が教育実習で何名か来たことがありますが、学生に話を聞くと、将来、幼稚園の先生や保育士になりたいと思っているけど、仕事内容が少しハードルが高いということで、資格は取得するけれども、一般企業に就職することを考えているとのことでした。その一方、現在、同勤している先生に、岸和田市には、保育士不足解消のために設けている「スポット保育士」と

言って、育児休業の保育士の代替として勤務することができる制度があると伝えたら、和泉市にはそういう制度がないので、そういう働き方はとても良いですね、と伝えてくれました。この制度は登録制で、必要に応じて連絡がくることになっています。このように岸和田市には良い制度があるのだから、広報に掲載されていても、よく見ないと分からないような箇所にあるので、もっと知らない人にも分かりやすく広めていったら良いと思います。

また、以前、妊婦検診の回数の件で、私は多胎妊娠で補助券が足りなかったという話をしたところ、改善されていたので、個人的にはとてもうれしかったので、ありがとうございました。

【議 長】

ありがとうございました。子育て中の話と、保育中の話といろいろ貴重な話をしただいて、ありがとうございました。

他に何かありますか。

【委 員】

チビッコホーム（学童保育）の件ですが、令和5年度の時点で待機児童が出ているとのことですが、現在、要望書を作成して、各チビッコホームの保護者からいろんな意見をいただいて、話を聞いていっているところであります。その要望の中でいまだにあるのが、「6年生まで受入れをして欲しい」という要望です。すでに長年、6年生までの受入れを行っているのに、こういう要望が出てくるということは、周知不足があるのではないかと思います。その要望が出た校区では、待機児童が出ていませんが、以前は慢性的に待機児童が出ており、学年が上がれば、申請してもチビッコホームには入れないという噂が先行しているため、申請すら行わないということがあります。

そしてこれまでの子ども・子育て会議の中で、質の向上の話が出ていましたが、まずは量の整備をしていきたいということで、回答をいただいております。その中で、今年度、大芝チビッコホームが第2ホームまであったものが第1ホームだけになりました。理由としては、利用する児童数が減ったということですが、ただ、それまでは登録している児童数が、第1、第2合わせて30人弱であり、実際に利用する児童数は曜日によって違いはありますが、だいたい20人程度の児童であったと思います。そのため保護者からすると、その環境がとても良かったとのことで、コロナ禍でも安心して預けることができたということでした。

岸和田市のチビッコホームの定員が50名となっているので、2ホームで50名を下回ると1ホーム減ってしまうのは仕方ないが、保護者にしたら、人数が2倍になっていますので、この1年保育がどう変わっていくのか不安を持たれている方もいます。今回は大芝がそういうケースではありましたが、50名定員というのは部

屋が狭い中、多すぎるという意見が多いです。部屋に関しては、おそらく40人学級を想定して作られた部屋である上に、その中にロッカーや座卓等が設置されていますで、かなり狭い状況です。したがって、第3期計画に向けては、そういった点に力を入れて欲しいと思います。

また、これは職員の人材不足にもつながる点ではありますが、放課後児童支援員の欠員が毎年出ていると聞いています。これは支援員の処遇が午後から勤務ということで、共働きをしているからなんとかやっつけていける状況である人がとても多いと思います。ただ、学童保育は名前のとおり、保育施設です。したがって平日午後1時から6時半まで預かってもらう時間は保育の時間ということになり、保育をするにあたっては、事前準備の時間が必要であると思います。もちろん幼稚園の先生も保育所の保育士も準備をしてその日の保育に望んでいると思いますが、学童の支援員にはその時間がありません。その点は問題があると思っています。

また、子どものことになると、現在、グレーゾーンと言われている子どもたちがたくさんいます。学童保育にもそういう子どもたちがたくさん通っていて、一部の支援員は自ら学習して対応している方もいますが、支援員全員がそういう子どもたちに対応できるわけではないと思います。また、市としてもそういう子どもに対する研修を実施しているわけではありませんが、受入れは行っています。もちろん、現在は放課後等デイサービスもありますが、障害のある子どもたちの受入れを、基本的には実施している状況であると思いますので、そういう意味でも支援員の研修体制とか働く時間帯は、第3期計画の中で、しっかりと考えて欲しいです。また、量の確保は、必ず施設と人の確保がないと増えていかないとしますので、数字では表れてこないかも知れませんが、しっかりと考えて欲しいです。

また、夏期の臨時子ビッコホームは基本的には、待機児童が多くでている校区で実施しているが、マスコミの報道でもよくありますが、子どもの安全や食に対する不安がたくさんある中で、支援のいる子どもたちに限って学童を利用していません。しかし学童はそういう子どもたちが積極的に利用できる場所でなければならないと思っています。自治体は市民の命を守らなければならない点から言うと、とても大事な点です。もちろん利用料の件にしても、月7,000円、減免であれば無料の2通りしかありませんし、受入れの体制が、そういう人たちが利用しやすく、取りこぼさないような仕組みを岸和田市全体で作って欲しいと思います。夏休みがスタートしているが、何事もなく、子どもたちが新学期に元気に出てくれるように、学童保育も子育て支援の一環という観点で、市民が利用しやすい施設にして欲しいです。

【議 長】

貴重な意見、ありがとうございました。次の議題がありますので、進めてまいります。

それでは「3 議題（2）第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画について」事務局から説明をお願いします。

（「3 議題（2）」について事務局説明）

【議 長】

ありがとうございました。ただ今、事務局より「第3期 岸和田市子ども・子育て支援事業計画について」説明がありました。

委員の皆様からご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

【委 員】

事務局の説明から、④の第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画のみ策定を進めるということは分かりましたが、①から③の計画については、この子ども・子育て会議では取り上げないが、市の別の部門で計画を策定することになっているのでしょうか。

【議 長】

ありがとうございました。それでは事務局からお願いします。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。資料4の①から③の計画については、今のところ、本市では計画という形で策定されていません。これは「こども大綱」が現在、国で策定中でありまして、なおかつそれに基づいて、市町村に対して努力義務ではありますが、「子ども計画」を策定するように法定化されており、既存の「子ども・子育て支援事業計画」と内容が重複するところがあるため、一体として策定することを考えて来ました。しかし国の方の動きが現段階で見えないところがありますので、まずは、こちらも5年に1回策定することが法定化されており、令和7年度よりスタートすることが求められている「第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画」を優先して策定しながら、続いて、①～③の計画を包含した形の「岸和田市こども計画（仮称）」を策定していきたいと考えております。今の段階では事務局案ではありますが、「第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの時期を迎えた折に、「岸和田市子ども計画（仮称）」を策定していきたいと考えております。

【議 長】

ありがとうございます。他に何かありますか。

【委員】

第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたって、今までの「子ども・子育て支援事業計画」の中や、先ほど事務局より説明いただいた内容の中にも、子どもの貧困に関わる家庭のしんどさを支援するような取り組み等が入っていると思います。例えば、「ファミリー・サポート・センター事業」もそれに該当すると思います。子どもの貧困や若者の問題など、いろいろな問題は絡み合っているもので、実際に第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中にそういうしんどい家庭の方が利用できるような内容を加味しながら、計画を立てることは可能だと思います。そうしなければ、次に進んでいけないと思います。したがって先ほど事務局から説明がありましたように、国や府から計画が提示されたから①から③の計画を策定するのではなく、第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたって、そういうことも考えて立てていかなければ、本当に役に立つ計画になっていけないと思います。

だから私が先ほど質問しました障害のある子どもたちはどうなっているのか、と聞きましたら、障害者の支援をおこなっている部署が計画を立てていると説明を受けました。しかし子どもは子どもなので、特に小学校は支援学級とかいろいろな障害を持っている子どもが実際、地域の学校に通っており、いろいろな問題が起こっており、しんどい思いをされている先生もたくさんおられます。

また、特に子どもが小さいほど、障害を持っている子どもが地域に通う意義が現在よく言われているが、そういうことも加味した新事業計画を立てることが大事だと思います。それが、今後、国のこども大綱にて具体的に指示が出された部分について、第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中のこの部分が指示を出された部分です、と説明することができるようにしておくことが必要だと思います。今、生活している子どもたちがより良くするための計画であるのだから、上から言われたからやろうという計画ではなくて、そういうことを加味した計画を作っていくことが大事だと強く思います。

【議長】

ありがとうございました。事務局から何かありますか。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。まさにご意見をいただいたところを考慮しておりまして、第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画のところについては、今まで漏れていた貧困の部分、若者の部分、障害の部分をもっと取り込んだ形の第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画というものにしていきたいと考えていたところでした。項目についても足りていないところがあるのではないかと以前の子ども・子育て会議でもご意見をいただいていたと思いますので、もっと充実、発展さ

せた計画を作っていきたいと考えていたところではありません。

しかし今年度に入り、子ども家庭庁が出来て、それらすべてを包含した形でのこども計画を策定するようになると話が変わってきて、第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画については、令和7年度スタートさせることが法定義務となっておりますが、「こども計画」については、すべての項目において令和7年度までに子どもたちにアンケートをして作りあげることができるかといった時間的问题がありますので、一旦、第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画については、今のままで作るのではなくて、ご意見いただいたことを加味した上で、今、不足している部分を取り込みながら、第3期を作りながら、後に岸和田市の「こども計画」を作り上げていく方が良いのではと考えておりますが、このあたりは委員皆様のご意見をお伺いできればと考えております。

【議 長】

ありがとうございました。第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画を先行して策定する中でも、最終は「岸和田市こども計画（仮称）」に到達していくので、事務局の説明でもあったように、そこを目指してやっていく中で、貧困の件や、少子化対策を次のアンケートの中にも反映できるようなところがあれば、入れていきながら、作っていければ良いのではないかと思います。それからもう1点は「質」という点が課題であったと思いますが、第3期はこのあたりも重点をおいていく段階ではないかと思います。

他に何かありますか。

【委 員】

単純に質問ですが、①の少子化社会対策計画や、③の子どもの貧困計画については、なんとなくイメージは出来るが、②の子ども・若者計画については、具体的にどのようなことが考えられる内容でしょうか。

【議 長】

ありがとうございます。一般的なことですが、今回、「こども計画」は、0歳から18歳のすべての子どもが盛り込まれるということで、年齢の幅が広がるというイメージを持っていますが、事務局の方から何かありますか。

【事務局】

まさにその部分が今、国の「こども大綱」であったり、府の「こども計画」が何も示されていないので、私たちも対象が上がった部分について、どんなアンケートをして、どのような取り組みを市として示していったらよいか苦慮しているところがあります。したがって「こども大綱」、府の「こども計画」が示されないと、ア

ンケートも出来ない状況となっております。ただ、対象年齢が広がるということは、会長からご説明あった通りであり、その部分については、今後、注視しながら、取り組むべきことを探っていきたいと思います。

【議長】

ありがとうございます。他に何かありますか。

【委員】

1点、質問させていただきます。今年4月から「命の安全教育」が文科省から各市町村の教育委員会においてくるということを聞いておりますが、子ども・若者計画は、デートDVや、いろんな男女間のトラブルで命を失うといったことで、文科省としては、学校教育に「命の安全教育」をいれていくように通達しているようです。

また、他の都道府県では、中学校では既に取り入れられているという情報を聞いています。岸和田市の場合は、現在、小・中学校では「命の安全教育」が文科省から大阪府の教育委員会を通じておりてきているのか、もしおりてきているのであれば、小・中学校の教育現場でどのように実施しようとしているのか、教えていただければと思います。特に若者計画には、自分らしい健康な人生を送ることが基準になってくると思います。

【事務局】

梅崎委員もよくご存知かと思いますが、命の大切さは今に始まったことではなくて、以前より教育現場で取り組んでおります。昨今、社会の変化の中から様々な問題が生じてきており、自死も増えてきているという中から、子どもたちにいろいろと働きかけていくようにと、文科省からも指示がおりてきております。教育委員会といたしましても、以前から人権教育を通して命の大切さの指導は行っております。この会議で議題になっている「子ども・若者計画」は最終的には「こども計画」になっていくということですが、これとは別で市長部局が「教育大綱」というものを作成しており、それに基づいて教育委員会は教育重点施策というものを毎年作成しております。先ほどあったように、国の「子ども大綱」であったり、府の「こども計画」の整理が進んでいないということで、調整は必要になってきているのではないかと考えているところであります。

【議長】

ありがとうございました。現在、国の動きを注視している段階ではありますけど、大事にしないといけないのは、岸和田市の子どもたちにとってより良いものを目指しながら、次の計画を作っていくことだと思います。もうしばらくしたら国からこ

ども大綱が出てくると思いますので、そのあたりも委員の宿題として情報収集をしっかりしていくことをしていきたいと思いますが、いかがでしょうか。報道を注目しながら、それを踏まえて10月に会議ができれば良いと思います。

本日は貴重な意見をたくさんいただき、ありがとうございました。今回のご意見を受けて、新しい計画に向けて大いに参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 議題（3）その他について

#### 【事務局】

次回の「第30回岸和田市子ども・子育て会議」についてですが、今年10月13日（金）14時より、場所は岸和田市役所 新館4階第1委員会室で開催いたします。改めて、会議1週間前のご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、傍聴の方は、本日の資料については、会議終了後回収いたしますので、お持ち帰りにならないようにお願いします。事務局からは、以上です。

#### 【議長】

ありがとうございます。以上で本日予定していた議案は全て終わりました。委員の皆さんのご協力、ありがとうございました。

これを持ちまして、第29回岸和田市子ども・子育て会議を閉会といたします。ありがとうございました。